

授業科目及び教育課程における学修成果の評価の方針（アセスメント・ポリシー）

本学は、授業科目レベル及び教育課程レベルの学修成果の評価について、その目的、達成すべき質的水準、評価の実施方法を、「愛知学泉短期大学学修成果の評価方針（AP・CP・DPに基づくアセスメントの概要）」として、次のように定める。

【目的】

1. 学科の卒業認定・学位授与の方針に定める「学生が身につけるべき資質・能力」に関しては、獲得すべき知識や能力に関する学修成果の把握・評価を行う。
2. 学修成果を把握・評価することで、学生自らがPDCAに取り組み、学生が自らの成長を実感できるようにする。
3. 学修成果を把握・評価することで、授業科目担当者及び学科として教育の改善・向上に取り組み、教育の質を保証する。
4. 学修成果の把握・評価に関する情報を公表することにより、社会への説明責任を果たす。

【達成すべき質的水準】

1. 授業科目の成績評価については、「GPA制度」に定められた評価基準によるものとし、授業科目について達成すべき質的水準を評定の「可」（GPの「1」）以上とする。

成績	点数 (100点満点)	評価基準			GP (科目の評点)
		到達目標	成績	判定	
秀	90点～100点	ほぼ完全に達成	きわめて優秀	合格	4
優	80点～89点	十分に達成	優秀	合格	3
良	70点～79点	概ね達成	良好	合格	2
可	60点～69点	最低限達成	最低の合格	合格	1
不可	59点以下	達成していない	不可	不合格	0

2. GPAについては、学期ごとに達成すべき質的水準として「GPA制度」に定められた当該学期のGPAが1.3未満の学生に対し、指導教員等が修学指導をする。
3. 各科目の達成すべき質的水準を60点以上とする。
なお、社会人基礎力については、段階評価の点数化を用い、合計10点満点とする。
4. 社会人基礎力の卒業認定・学位授与の方針の学生が身につけるべき資質・能力については、ルーブリック評価を用い、次の基準による5段階とし、達成すべき質的水準レベルを平均2以上とする。

レベル	評価基準
4	ほぼ完全に達成している
3	十分に達成している
2	概ね達成している
1	最低限達成している
0	達成していない

5. 修得単位数については、卒業認定について達成すべき質的水準を「愛知学泉短期大学学則」の第22条の規定に定められた単位（食物栄養学科 64 単位、幼児教育学科 62 単位、生活デザイン総合学科 64 単位）以上とする。

【評価の実施方法】

1. 授業科目における学生が修得した知識及び能力の状況については、次の方法により測定する。

学生個人の把握・評価	授業科目としての把握・評価
授業科目ごとの成績（G P）	授業科目のシラバスに示された評価方法・基準による到達目標の達成度の成績評価
授業科目ごとの授業を受けた結果と満足度	授業評価アンケートにおける授業を受けた結果と満足度

2. 授業科目における学生の学修に係る意識及び行動の状況については、次の方法により測定する。

学生個人の把握・評価	授業科目としての把握・評価
授業科目ごとの予習・復習・課題の学修時間	授業評価アンケートの学修時間に関する結果
授業科目ごとの学修意欲	授業評価アンケートの学修意欲に関する結果

3. 教育課程における学生が修得した知識及び能力の状況については、次の方法により測定する。

学生個人の把握・評価	学科としての把握・評価
単位修得状況	卒業に必要な所定の単位を修得した者の割合
学位取得	学位取得率
成績（G P A）	学年ごとのG P Aの平均値と成績評価の分布、2 年生終了時に、卒業に必要な所定の単位を修得した者のうち、G P A 1.3 以上を達成した者の割合
資格・免許取得	学科で「取得できる資格・免許」の資格・免許の卒業時の取得者及びその他の資格・免許の卒業時の取得者数
留学等	海外派遣学生数（交換留学、海外研修）外国人留学生数
就職先、進学先	就職希望者における就職者数と就職率、進学希望者における進学者数と進学率
社会人基礎力に関するルーブリック評価	学修ポートフォリオ「学修成果の把握（社会人基礎力）の振り返り（選択肢はルーブリック評価）による把握の結果の平均値（学年推移、入学時と卒業時の比較）
学科の学生が身につけるべき資質・能力のルーブリック評価	学修ポートフォリオ「学修成果の把握（学科の目標、学位授与の方針）の振り返り（選択肢はルーブリック評価）による把握の結果の平均値（学年推移、入学時と卒業時の比較）
キャリアに関して身につけるべき	学修ポートフォリオ「キャリア形成判定」の振り返

知識や能力（就業力）に関する段階評価	り（選択肢は段階評価）による把握の結果の平均値（学年推移）
授業評価アンケートにおける授業を受けた結果と満足度	授業評価アンケートにおける授業を受けた結果と満足度の平均値
成長の実感	卒業時アンケートの成長の実感に関する結果の平均値
満足度	卒業時アンケートの満足度の結果に関する平均値
社会人基礎力	卒業時アンケートの社会人基礎力に関する結果の平均値
卒業生に対する評価	卒業生調査の卒業生に対する評価に関する結果の平均値

4. 教育課程における学生の学修に係る意識及び行動の状況については、次の方法により測定する。

学生個人の把握・評価	学科としての把握・評価
1週間あたりの学修時間・学修行動	授業評価アンケートの学修時間・学修行動に関する結果の回答分布
学習意欲	授業評価アンケートの学修意欲に関する結果の平均値
科目ごとの予習・復習・課題の学修時間	授業評価アンケートの予習・復習・課題の学修に関する結果の回答分布
科目ごとの学習意欲	授業評価アンケートの学修意欲に関する結果の平均値

5. 授業科目及び教育課程における学生が修得した知識及び能力の状況並びに学生の学修に係る意識及び行動について、前各項及び前各項以外に、学科によって、必要に応じて又は希望により、その他の方法及びその他の指標により測定する。

【検証及び改善・向上・開発】

1. 授業科目については、FD委員会及び担当教員が、「GPA制度」を踏まえて、授業科目の成績評価の分布及び授業評価の結果を確認し、授業の改善・向上・開発に取り組む。
2. 教育課程については、学科会議において検証の結果を共有し、全学及び学科として改善・向上・開発に取り組む。

【情報公開】

1. 授業科目については、原則として全授業科目の成績評価の分布及び授業評価アンケートの結果について本学ホームページにおいて本学の学生及び教職員の他一般公開する。
2. 教育課程については、全学的な学修成果及び学科の学修成果について本学ホームページにおいて一般公開する。

附則 この方針は、「3つのポリシー委員会」の行動計画として、令和7年4月1日から改正施行する。